

## 第2次 笠間市観光振興基本計画の策定について

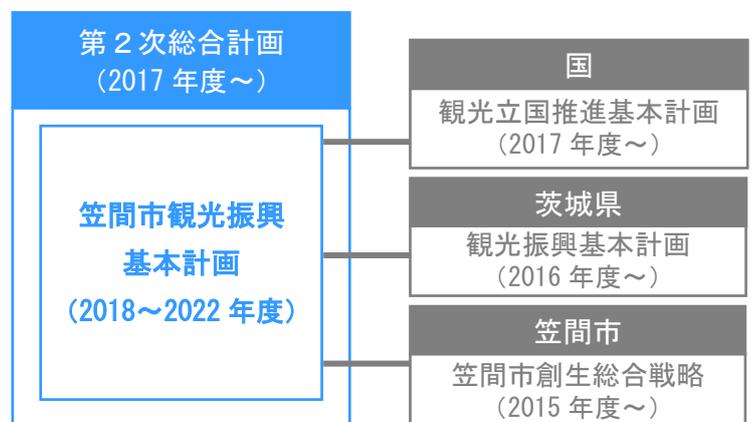
### 1. 趣旨・位置づけ・計画期間

#### (1) 趣旨

- ・笠間市・友部町・岩間町の合併を契機に策定された「第1次笠間市観光振興基本計画」が、計画期間（H20年度～H29年度）を終了することから、新たな基本計画を策定する。
- ・「第1次計画」が策定されたH20年度以降、社会情勢や交通インフラ等が大きく変化したことから、それらを踏まえた新たな観光振興基本計画を策定する必要がある。

#### (2) 位置づけ・計画期間

- ・「第2次笠間市総合計画」の産業分野の観光に関する個別計画として、今後5年間「H30年度～H34年度」の笠間市の観光振興に関する方針、基本的な方向性を明らかにするために策定する。



### 2. 計画策定経緯

#### (1) 市内観光関連団体・事業者ヒアリング調査（H29.7～8月）

- ・観光関連団体・事業者の方々に、笠間市の観光に関するこれまでの取組、現状、今後の方向性等について、ヒアリング調査を実施

#### (2) 現状・課題整理

- ・国・茨城県・笠間市の計画・統計資料や市内関係者等からの情報をもとに、笠間市の観光に係る現況・課題整理を実施

#### ◆現状

- ・交通体系の変化
  - H22 茨城空港開港
  - H23 北関東自動車道全線開通、H29 圏央道県内全線開通
  - H27 常磐線品川駅まで乗り入れ
- ・近隣環境の変化
  - 大型商業施設の開発（水戸市、ひたちなか市、土浦市、つくば市等）
  - 国営ひたち海浜公園（春：ネモフィラ、秋：コキア展示）への外国人観光客増加

・全国的な環境変化

- 外国人観光客の増加（H20：835万人、H28：2,403万人、中心は東アジア観光客）
- 東京オリンピック・パラリンピック開催を見据えた国際誘客の動き
- 人口減少・少子高齢化の進展、若手人材・後継者不足
- 観光産業を地方創生の方策の一つとして位置づける動き

◆主な課題

〈地域の魅力向上〉

- 笠間市を訪れる観光客の満足度を高めていく。
- 笠間市の将来の観光を担う人材を育成する。
- 観光客の方々が市内を回遊する流れを作る。

〈宿・食の充実〉

- 宿泊施設の整備、食のブランド力向上を図る。

〈情報発信・インバウンド対応〉

- 茨城空港を利用する外国人観光客の誘客を進めていく。
- 外国人観光客向けの情報発信、サービスを向上していく。

(3) 笠間市観光振興基本計画策定委員会

- ・笠間市観光振興基本計画を策定するために、立教大学・東教授をはじめ、市内の関係団体・事業者16人が参加する委員会を開催し、笠間市の観光振興のあり方について協議を行った。

会議名	開催日	内容
第1回策定委員会	平成29年12月25日	・現状計画、現状課題説明 ・笠間市の観光に関する質疑、討論
第2回策定委員会	平成30年1月11日	・第1回策定委員会内容の確認、整理 ・笠間市の観光に関する質疑、討論
第3回策定委員会	平成30年1月24日	・第2回策定委員会内容の確認、整理 ・笠間市の観光に関する質疑、討論
第4回策定委員会	平成30年2月23日	・第3回策定委員会内容の確認、整理 ・笠間市の観光に関する質疑、討論

(4) パブリック・コメント

- ・下記の日程で意見募集を行い、2人の方から4件のご意見等があった。

項目	日付
予 告 日	平成30年2月6日～平成30年2月14日
実施期間	平成30年2月15日～平成30年3月6日

### 3. 基本理念・基本的視点・基本目標・目標指標

---

- ◆ 「(1) 基本理念」については、笠間市総合計画上の理念を引用する。
- ◆ 笠間市観光振興基本計画策定委員会の意見等を踏まえ、新たに「市民が主役の観光まちづくり」を「(2) 基本的視点」として設ける。市民一人ひとりがまちを知り笠間市に愛着と誇りを持ち地元を語ることで市外から人が集まり、さらに、市民と外から来た人々がともにまちを楽しむことで、笠間市に「また来たくなる」人を増やしていく。
- ◆ 「(3) 基本目標」として、下記の3つの目標を掲げる。多様化する観光ニーズや急増するインバウンド需要に合わせ、豊富な地域資源を活かしその魅力を磨き（目標1）、魅力あるコンテンツを育成しながら記憶に残る「情報発信」を行い（目標2）、さらには市民・事業者間や周辺地域との連携を深めながら笠間市の強み・地域特性を伸ばしていく（目標3）。
- ◆ 「(4) 目標指標」は、第2次笠間市総合計画アクションプランに定める下記の指標とする。

#### (1) 基本理念

・文化交流都市・笠間 ～ 笠間らしい魅力あふれる創造性豊かな観光のまち ～

#### (2) 基本的視点

・市民が主役の観光まちづくり

#### (3) 基本目標

- ・目標1 「笠間市の魅力磨きによる観光振興」
- ・目標2 「記憶に残るメッセージ性のある情報発信」
- ・目標3 「笠間市の強み・地域特性を伸ばす観光振興」

#### (4) 目標指標

指標名	現状値 (平成 27 年度)	アクションプラン の目標値 (平成 33 年度)	目標値 (平成 34 年度)
観光入込客数	3,521 千人	3,873 千人	3,900 千人
観光情報HPアクセス数 (市、観光協会)	238,702 件	310,000 件	320,000 件

#### 4. 基本的施策

- ・笠間市観光振興基本計画策定委員会の意見等を踏まえ、「市民が主役の観光まちづくり」を基本的視点としながら、「インバウンド」「民泊」「人材育成」「市民による活動への支援」「メディアの積極的活用」「観光案内の充実」「多様化するニーズへの対応」「観光客を楽しませるコンテンツの充実」等、今後強化していくものを盛り込み関連各部、事務事業等との調整を行い次の施策体系とした。

※●は重点プロジェクト

大施策	中施策	小施策・取組み
1. 魅力づくりのための基盤強化	(1) 関係団体との連携強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>○笠間観光協会を中心とした観光事業の推進</li> <li>○市民、事業者間の連携強化</li> <li>○滞在時間延長につながる仕組みの構築</li> </ul>
	(2) 観光交流施設の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>○宿泊施設などの誘致及び立地支援</li> <li>○観光関連施設の良好な維持管理</li> <li>○自然・里山などの景観や環境に配慮した整備</li> <li>●笠間稲荷神社周辺及び駅周辺の街並み整備</li> <li>●道の駅を活用した情報発信・取組み</li> </ul>
2. 情報発信の推進	(1) 観光客誘致に向けた情報発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各種イベントなどを通じた情報発信</li> <li>○ホームページ、SNSなどの充実</li> <li>●宣伝資材の充実及び整理</li> <li>○メディアなどの積極的な活用</li> </ul>
	(2) 案内機能の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○観光案内所（インフォメーションセンター機能）の拡充</li> <li>○観光誘導案内板の整備</li> </ul>
	(3) 将来を見据えた人材育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>●多様なニーズに対応できるひとづくり</li> <li>○観光案内人の育成・強化</li> <li>○郷土教育の充実による郷土理解の促進</li> </ul>
3. 広域連携による魅力づくり	(1) 広域観光の構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>○他自治体との連携による観光事業推進</li> <li>○茨城県や県域を超えた取組みの強化</li> </ul>
	(2) 交通事業者と連携した観光振興の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○鉄道・バス・高速道路の各事業者と観光 PR における協力体制の構築</li> <li>○公共交通ネットワークを活用した、市内回遊性の向上</li> </ul>

4. 地域特性を活かした観光客誘致の推進	(1) 体験型ツーリズムの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○工芸体験の継続実施</li> <li>○ガイド同行のツアーの開催</li> <li>○地域に残る習俗の再現・活用</li> <li>○農業体験プログラムの充実</li> <li>○自然体験や着地型旅行の充実</li> </ul>
	(2) 戦略的なイベントの推進と満足度向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地場産品や食に係るイベントの開催</li> <li>○目的別・テーマ別の観光イベントの開催</li> <li>○特定の客層のニーズに合致した観光コースの設定</li> </ul>
	(3) 様々な産物のブランド戦略との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ブランド力を高める観光戦略の展開</li> <li>○街並みの統一感の創出に地場産品の活用</li> </ul>
5. インバウンド事業の推進	(1) インバウンドに対応できる基盤の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>●台湾交流事務所を中心としたPR活動の推進</li> <li>●外国語による案内板やパンフレットなどの整備</li> <li>○公共施設や観光拠点の公衆無線 LAN の整備による情報インフラの提供</li> </ul>
	(2) インバウンドに対応した人材育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>●国際観光に対応できる人材の配置、ガイドの育成</li> <li>●東京オリンピック・パラリンピック、いきいき茨城ゆめ国体などでのPR強化</li> </ul>
	(3) 国際交流の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>●市とゆかりのある外国との交流事業の推進</li> <li>●誘客体制の構築と民泊の活用</li> </ul>
6. 支援体制の整備	(1) データの収集・分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>○観光に関する基礎データの調査・収集・分析</li> <li>○地域経済分析ツールの活用</li> </ul>
	(2) 国・県の動向を見据えた取組みの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○国・県の動向の把握</li> <li>○笠間市の地域特性を活かし、周辺状況を反映した観光施策の実施</li> </ul>
	(3) 庁内連携の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○笠間市庁内の関係部署との情報共有の仕組みづくり</li> <li>○関係部署と協調するための仕組みづくり</li> </ul>

## 5. 笠間市観光振興基本計画策定委員会 名簿

No	組織・団体	役職	氏名
1	立教大学観光学部観光学科	教授	東 徹
2	(一社)笠間観光協会	専務理事	小沢 敦
3	笠間稲荷神社	企画総括部	伊東 達朗
4	笠間市商工会	事務局長	青木 和司
5	笠間焼協同組合	事務局長	深町 明
6	稲田石材商工業協同組合	事務局長	加茂 克美
7	常陸農業協同組合 笠間営農経済センター	センター長	川井 隆久
8	笠間アグリビジネスネットワーク協議会	書記	箱田 素子
9	笠間工芸の丘(株)	総務部長	岡野 正人
10	茨城県陶芸美術館	副館長	鈴木 忠男
11	笠間日動美術館	事務局長	萩野谷 茂
12	笠間ふるさと案内人の会	会長	成田 英光
13	いばらき観光マイスター	S級認定者	柴沼 美智子
14	(有)割烹旅館 城山	若女将	新名 寛子
15	NPO 法人 笠間の魅力発信隊	理事長	大坪 桂
16	NPO 法人 いばらきの魅力を伝える会	代表理事	金澤 大介
17	茨城交通(株)	笠間営業所長	小山 満之

### 事務局

No	組織・団体	役職	氏名
1	笠間市産業経済部	部長	米川 健一
2	笠間市商工観光課	課長	川又 信彦
3	笠間市商工観光課	観光戦略室長	菅谷 清二